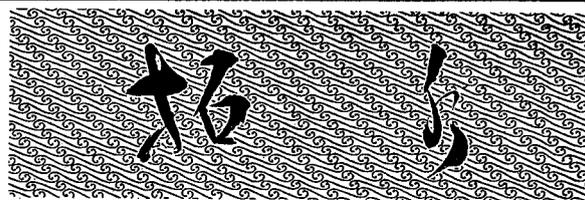


合成洗剤を追放しよう!!

生命のふるさと 海を守るために

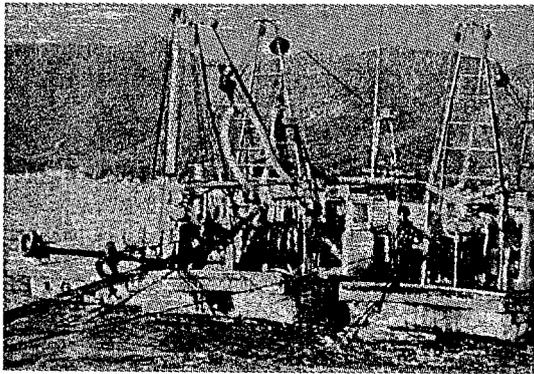


3月号 No.330

一部 10円

(会員の購読料は指導事業経費より支払われています)

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区中之島 2-2-1
TEL 681-6954~7
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会



今回は昨年十一月に東京で行なわれた、第一回全国漁業協同組合大会決議の「協同活動を生産の場に広げ、資源と漁場の自主管理を行う」「漁業計画を推進し、計画的漁業経営の推進」を要する漁業経営の推進を、この実戦報告が、漁協経営センター山本所長からはこれの基本と各地の事例が報告された。

協同活動を生産の場に広げ、資源と漁場の自主管理を推進

2・9漁協組合長・役員研修会

58年度漁業協同組合長、役員研修会が2月9日、神戸市立水産会館大ホールで開催された。この研修会は、漁協組合長、役員等の資質の向上と漁協事業の総合的な推進を図り、漁協経営の発展に資するもので、今年で二年目となる。

本区に漁業権行使に共々有思想を導入、養殖漁業での規模の平均化を図り家族労働力と都市勤労者なみの所得を基礎に漁業経営の目標を家族の生活充足におき、漁業所得の均衡を旨とした実践活動、そして、組合員助成、組合員の漁業計画の重要性が報告された。

漁業用燃油タンクの課税措置を阻止

昭和59年度の水産関係税制改正結果

おりました事項のうち、
①特定の基金に対する負担金等の損金算入の特例
②漁業者
の对象に、裁培漁業推進のための業務が新たに追加されたこと。③漁業者
除とは別枠の所得控除

ワカメ共販はじまる

価格は順調なすべり出し

第四回全国豊かな海づくり大会

十月六日に三重県浜島町で開催

第四回全国豊かな海づくり大会は三重県志摩郡(会長・宮原全漁連会長)の衆議院議長、農林水産大臣をはじめ関係者約四千人が参加式典、表彰、浜島町で開催されるが、は関係機関との日程調整、稚魚放流などの行事を行う主体である三重県(の結果、開催日を本年十一月六日(土)に決定した。)

漁場をまもるサテライト

サテライト3月毎週土曜朝10時30分から放送
海の汚染が叫ばれて久しい。それとともに保護の声が高まっているのも事実だ。島国日本にとって、海は命といっても過言ではない。この番組では海の資源保護を訴え、そのためには一人ひとりの注意が必要だと、シリーズと呼びかける。



美化運動を描いている。3月24日 宇和島を守る青年連 愛媛県宇和島市一 ハマチ養殖の投餌による自家汚染にスポットをあてる。養殖のさかんな愛媛県宇和島市で、漁場 人の活動を通して環境の保全にとめる青年連の姿をインタビューしてもらいながら記録したもので、3月31日 クリナップ大作戦 兵庫県高砂市の漁協による海底清掃作業の状況を放送する。ゴミの中にはトラックのタイヤや自転車まで含まれ、わたしたちの日頃の行動を考えさせられる。

ワカメ養殖は年々盛んになり、生産量も順調な伸びを示しているが、兵庫県漁連ではこれに対応して、ワカメ価格の安定と商品性の向上を図るため、昭和五二年よりワカメ共同販売事業をスタートさせた。今年で六回にあたる共販も、2月23日西淡町丸

Advertisement for radio services. Includes text: (27.524KHZ) 緊急波(非常の時のみ) 24時間聴守 (26.912KHZ) 気象通報 航行警報 指導の無線. Also includes 'みんなの電波' and '正しく使おう' sections.

無形の財産

漁家の預貯金・借入金の適格な状況把握を

第9回漁家経済調査結果

信漁連

漁協貯蓄増強運動の推進にあたり、漁家の預貯金・借入金の適格な状況把握のために、全国規模による漁家経済調査を昭和四十年十月以来隔年に亘って実施してきた。本報においても第九回目を昭和五十八年十月三十一日を基準日として県下一斉に実施した。

本調査は、信用事業の実施漁協に所属する漁家を対象とした調査であり、調査表の配付・回収を漁協役員並びに婦人部役員等に依頼し、信漁連において開票・集計を行ったものである。

組合によっては、なかなか回収困難な事情もあり、また県内の平均を表わしているため、個々の漁協の実態によって相違する面もあるが今後の具体的な運動推進の参考とするため、以下の結果を項目別に記載する。

回収状況
 回収状況として、信用事業実施漁協四三組合中、水産加工協を除く四〇組合、対象漁家数約五、〇〇〇戸について協力を求めた。

・対象漁協四〇組合中、実施漁協は、三三組合(八〇%)で、前回調査時よりも六組合増加した。

・配付枚数四、七四九枚中、回収したものが三、二七枚で、六八・〇%の回収率となり前回(六一・二%)よりも上廻った。

・また、回収票のうち、有効票は二、五八八枚、八〇・二%である。

預貯金漁協利用率は四九・四%

預貯金の状況
 漁協利用状況
 漁協利用状況の県下全体は、四九・四%である。この数値は過去八回の調査を含め二番目に低い水準(最低は昭和四十年一四・二%)であり、系統利用率七〇%以上の



り、反面白紙等の無効票も割合多く、六三九枚、一九・八%を占めたことは残念である。

・回収率、有効率を海区別にみると、摂播海区はそれぞれ六一・五%、八〇・二%、淡路海区は六三・二%、七二・七%、但馬海区七八・五%、八六・三%であり、組合員と漁協との信頼関係がこの調査の協力度でもうかがわれる。

表一 海区別回収状況表 (単位: 組合数、枚、%)

区分	対象漁協	実施漁協	配付枚数	回収枚数	有効枚数	回収率	有効率
摂播海区	13	10	1,491	917	744	61.5	81.1
淡路海区	22	17	1,616	1,021	732	63.2	71.7
但馬海区	5	5	1,642	1,289	1,112	78.5	86.3
合計	40	32	4,749	3,227	2,588	68.0	80.2

表二 海区別預貯金利用状況の表 (単位: %)

区分	漁協	銀行	相互銀行	信金信組	農協	郵便局	その他
摂播海区	84.1	13.2	5.8	8.3	4.1	15.2	5.3
淡路海区	30.2	10.3	11.2	23.0	8.0	14.1	3.2
但馬海区	59.1	14.2	1.0	7.4	8.0	7.7	2.6
合計	49.4	13.0	4.6	11.2	6.9	11.3	3.6

この四〇%が二組合(本、生穂)、三〇%が六組合と続き二〇%以下が五組合の割合である。二〇%を前回より〇・一%減少している。

但馬海区は、香住町が六八・四%(前回より六・七%増加)と六〇%を維持したものの、他の漁協は減少し五〇%台が二組合、四〇%、三〇%台がそれぞれ一組合となっている。

なお、海区平均利用率は六〇%台を割っているもの五九・一%を占め、半数以上の組合員が漁協を利用して、平残運動のベイスにもなっている。

今後漁協利用率を高めるためには信用事業の事務整備は勿論のこと、事業運動に沿って信用事業の特性・専門性を発揮し、組合との絆を強化しながら、漁協貯金の必要性を浸透していただきたい。

表三 海区別、経営者・従事者利用状況表 (単位: %)

区分	漁協	銀行	相互銀行	信金信組	農協	郵便局	その他
漁業経営者							
摂播海区	49.0	13.3	5.4	8.4	4.0	14.8	5.1
淡路海区	30.5	10.2	11.4	23.7	7.9	13.9	2.4
但馬海区	61.9	14.4	1.0	6.4	6.9	6.9	2.5
計	49.9	13.0	5.0	11.3	6.2	11.3	3.3
漁業従事者							
摂播海区	13.2	10.5	18.9	4.1	9.9	28.7	14.7
淡路海区	24.6	12.6	7.0	10.1	8.7	17.4	19.6
但馬海区	50.6	13.6	1.0	10.4	11.3	10.0	3.1
計	46.5	13.4	2.4	10.1	11.0	11.6	5.0

経営者・従事者別利用状況
 前述の預貯金の利用状況を漁業経営者、漁業従事者別に分類すれば次のとおりである。

経営者の利用状況は、漁協(四九・九%)、銀行(一三・〇%)、信金・信組(一三・〇%)、農協(六・二%)、郵便局(一一・三%)、その他(七・〇%)の順であるが、従事者では、漁協(四六・五%)、銀行(一四・四%)、信金・信組(一三・〇%)、農協(一・〇%)、郵便局(一・六%)、その他(一五・二%)の割合となっている。

県下全体漁協利用率が、四九・四%であるのに対して、経営者では四九・九%、従事者では四六・五%の構成割合である。ちなみに、前回調査時では従事者の方が、今六%上廻っていたが、今回は逆転した結果となっている。

経営者の海区別では、漁協利用率は、但馬海区

り、従来、都市近郊地区が高利用率を示していたが、今回は減少傾向にある。特に摂播海区の三・九%減が顕著である。

しかし、組合別で見ると二〇%台が六組合、一〇%台が二組合と相変わらず多く、なかでも漁協利用率を上廻っている漁協は、二組合あり、銀行の個別動向攻勢の激しさを示している。

相互銀行利用率は、金融機関中最低の四・六%ではあるが、前回より〇・八%増加している。

海区別にみると、摂播海区は五・八%、淡路海区は一・一%、但馬海区は一・〇%の割合である。内容的には、前回同様、家島町及び三原郡の周辺地域が高利用率を示しているが、その他の地域では、五%前後の漁協が大半を占めている。

信金・信組利用状況

1月末実績 37,738百万円		
全国漁協速報値		
残高	前月対比	前年同月
14,012	△2.9%	3.9%

昭和59年1月末の漁協貯金残高は377億円で前年同月対比3.6%の増加となっております。しかし58年3月末対比では19億円(△4.9%)の減少であり、年度末(目標額423億円)まで46億円の増加が必要であります。このような状況の中で年度末特別運動を現在展開中ですが、本年度目標達成に向けて各漁協におかれまして、役員をはじめ関係者の皆様のご苦勞が多いと存じますが、従来以上に強力な運動を展開されますようお願い申し上げます。

[1月末実績37,738百万円]			
56年度	57年度	58年度	前月対比
残高	34,784	36,424	37,001
増額	3,004	1,314	737
増額伸び率	8.5%	3.6%	2.0%

漁協が八組合も見上げられる。特に淡路海区においては二〇%台が六組合、一〇%台が八組合を占めているのが特筆される。今後、系統外呼び戻し方策について万全の対処を望みたい。

農協利用状況
 県下平均利用率は、六・九%で前回比〇・三%の増加である。海区別では、摂播海区四・一%、淡路海区一・〇%、但馬海区一・〇%、(前回比二・二%増)、淡路海区八・〇%、(前回比四・四%増)、但馬海区八・〇%、(前回比九・九%増)の割合で、金額ベースでは少ないが、やはり半農半漁の地区は高率を示している。

たが、漁協利用率は四九・四%と前回同、前回よりも、系統外利用率が五・〇%を占めている。これをいかにすれば、組合員貯蓄のうち、半数以上が系統外つまり、漁協以外の金融機関に預け入れられている現状といえる。

以上預貯金についてそれぞれの海区別に金融機関利用の特色を見てみる。

摂播海区は、漁協(八四・一%)、銀行(一三・二%)、信金・信組(八・三%)、農協(四・一%)、郵便局(一五・二%)、その他(五・三%)の順となっている。

淡路海区は、信金・信組(二三・〇%)、銀行(一〇・三%)、郵便局(一四・一%)、農協(八・〇%)、その他(三・二%)の順となっている。

但馬海区は、銀行(一四・二%)、信金・信組(七・四%)、郵便局(七・七%)、農協(八・〇%)、その他(二・六%)の順となっている。

合計は、漁協(四九・四%)、銀行(一三・〇%)、相互銀行(四・六%)、信金・信組(一一・二%)、農協(六・九%)、郵便局(一一・三%)、その他(三・六%)の順となっている。

県下全体漁協利用率が、四九・四%であるのに対して、経営者では四九・九%、従事者では四六・五%の構成割合である。ちなみに、前回調査時では従事者の方が、今六%上廻っていたが、今回は逆転した結果となっている。

経営者の海区別では、漁協利用率は、但馬海区

郵便局利用状況
 県下平均利用率は、一・一%を示し前回比〇・六%の増加であり、この海区別内訳は、摂播海区一・五・二%(前回比一・八%増)、淡路海区一・四・一%(前回比一・四%増)、但馬海区七・七%(前年同月一・四%増)の利用率である。過去三年の利用率を見ても、昭和五十二年六月一七・六%、昭和五十四年七月一・九%、昭和五十六年八月一〇・六%と毎回増勢が続いている。肥大化する郵便貯金に対して大型定期預金あるいは新期日指定定期預金の推進をはかる等、対策が必要である。

栽培漁業協会

20周年にあたって

昭和三十八年四月、瀬戸内海栽培漁業協会が設立されて、昨年がちょうど二十周年にあたり、一つの大きな節目として、栽培漁業の二十年を振り返ってその足跡を冷静に見つめ、更に今後の展望を確かなものとする基礎固めをしようということになり、先刻「日本栽培漁業協会二十年史」を記念出版いたしました。二十年の歩みについては、これを参照していただくこととし、この紙面ではごくさわりの部分に触れてみたいと思います。

昭和三十年代の後半を振り返ると、日本経済は高度成長時代に入り、特に瀬戸内海においては魚介類の産卵場・稚子の棲息場として重要な役割を果たしてきた干潟や藻場が、埋立により次々に壊滅し、更に埋立地に進出してきた各種工場

排水や、家庭廃水、農業の無秩序な流出によって沿岸域の汚染が激しく進み、沿岸漁業の中でも特に中高級魚が急速に減少して沿岸漁業は不振にあえいでおりました。

この打開策として考えられたのが「栽培漁業」という全く新しい漁業の仕組みだったのです。即ち、有用魚介類の稚魚を人工的に生産し、これを自然界に放流してこの資源を漁民の手で管理し、最終的には計画生産に結びつけようという、二十年前としては実に破天荒な、夢物語に近いものとして世間から冷たく迎えられたものでした。

昭和三十七年度予算に、瀬戸内海栽培漁業センターの建設予算が計上され香川県、愛媛県、徳島県、高松県、岡山県、広島県、山口県に事業場が建設され、翌三十八年から事業が開始される運びとなり

また、その運営の母体として水産庁の指導の下に、和歌山県から大分県に至る十二府県と、県漁連を会員とする「社団法人瀬戸内海栽培漁業協会」が設立され、会長に当時の金井兵庫県知事、副会長に当時の三浦兵庫県漁連会長に就任いただき、本部事務所を神戸におき、新発足したのでした。そしてこの体制は、坂井知事、山田漁連会長に引継がれて、昭和五十四年の日本栽培漁業協会に改組されるまで踏襲され、兵庫県の皆様方とは、特に深いおつきあいを頂いて今日に至ったのであります。

発足当時の栽培漁業技術は、まだ実験室の域を出ない初歩の時代で、ダイに代表される親魚養成、自然産卵技術の開発、シオミツボロムシの発見とその培養技術の開発、小型水槽から大型水槽へ移行した種苗生産技術の開発等々僅か二十年で、よくここまで進りつづいたものと発足当時の関係者の手探りの御苦労に敬意を表する次第です。

このように栽培漁業の技術開発が進み、放流の効果事例が除々に顕在化する中で、瀬戸内海以外の海域にも栽培漁業を取り入れる気運が高まり、昭和四十八年度から国の高率補助による県営栽培漁業センターの設置が進められた。兵庫県においても五十四年から五十六年までの三年事業により、明石市二見に県営栽培漁業センターが建設せられ、五十七年に発足いたしました。

これらと時を同じくして、瀬戸内海栽培漁業協会も全国域への栽培漁業の展開に備えて、昭和五十四年七月、日本栽培漁業協会へと発展的に改組して今日に至ったのであります。

以上のような経過を経て、栽培漁業は二十才を迎えたわけですが、種苗の生産体制も除々と整い、放流効果も魚種により又地域により好事例が出現するのをふまえて、従来の「県主導型」の栽培

漁業から漁民参加の栽培漁業の強力な推進を図るべく、昨年六月沿岸漁場整備開発法の一部改正が行われ、栽培漁業振興の目的に、①国がその基本方針を定め、②県が基本計画を策定すると共に、③放流効果実証事業を制度的に行うことを三本の柱とする制度の仕組みが法制化されました。

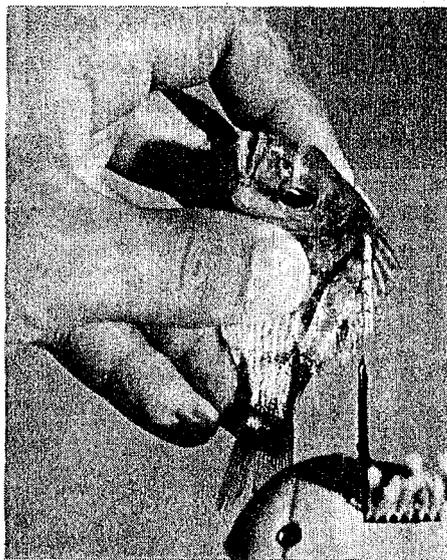
この内容については、「拓水」の十二月・二月号で、県水産課から解説されておりますのでここでは説明を省きますが、皆さん方へ一番関係の深いのが、③の実証事業だと思えます。この事業は「放流による漁獲量の増を、経済効果の面で実証する」と共に、その成果を漁業協同組合等に普及させる事業（と定義づけられ

ており、栽培漁業が事業化に入る一歩手前の段階と云えます。

県知事の指定する民法法人が、この事業の実施主体となりますが、要は、この団体が、漁業者・系統団体等を構成員とすると共に、常に漁業者との意志疎通が十分図られる組織であることが肝要です。

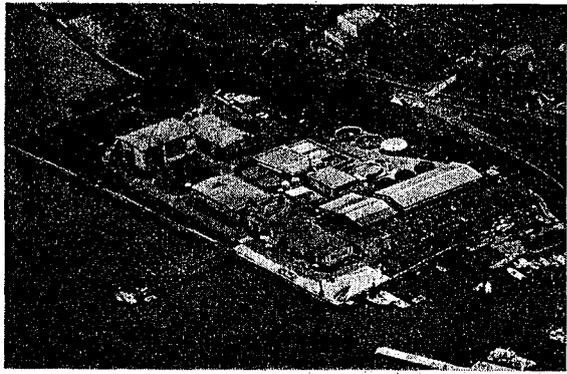
放流した魚が海に入ってから、漁業管理、漁場管理は、現実的には地先の漁業者の手によって行われるが、一番よいので、そしてこの事業が、名実共に漁業者のため、漁業者による栽培漁業に定着する日の一日も早からんことを念願し、明日の明るい瀬戸内海を期待して筆をおきます。

(社)日本栽培漁業協会
常務理事 屋代 勝敏



標識をつけたマダイ

漁業者年金で備えよう
さあスタートゆとりある老後へ



栽培漁業センター第1号(島根県松江市)

小型底びき網	20	メイタガレイ マコガレイ アマイメコ アマコ	30 10 7~10 10~15 40~50	2,000~4,500 1,000~1,800 1,600~25,000 800~1,300 100~250
--------	----	---------------------------------	------------------------------------	--

小型底びき網	9	クロウシタ ゴシゴシ ママコガレイ	15 8 3 6	1,000 1,000 200~800 2,200
	11	オママコ ママコ クロウシタ カササギ ママコ ママコ ママコ ママコ ママコ ママコ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4,500 1,250 2,200 3,000 1,000 800 1,300 3,500 2,500 1,000
船びき網	11	サヨリ	25~30	1,000~1,400
一本釣	55	マダイ(浮)	7~10	2,200~3,000
刺網	3	マシロイ ダグイチ	20 3~4 3~5	2,200 400 500
突棒	10(昼)	ナママコ ナママコ ナママコ	1~2 2~3 2~3	1,000 500 2,000~3,000
	10(夜)	アウビニ	30 2~3	2,000~3,000 1,150

刺網	17	キカマメ サガガレイ コイ	20 3 3 3 10	1,600 2,000 1,700 4,000 500
延縄	3	キハゼ マアゴ	18 10 30	2,000 1,000 2,300
縄	5	カサゴ	20	2,200
タコ壺	1	マダコ	25	1,720
一本釣	30	カサゴ	6	2,300
	20	ススギ	8	1,500
棒突	7	メバル	10	2,000
	2	ワカメ	50	250

漁種	隻・総数	主魚種	1隻日平均漁獲量(kg)	価格(円)
小型底びき網	20	メイタガレイ	20	2,000~4,500
		マコガレイ	10	1,000~1,800
		アマイメコ	7~8	1,600~2,500
		ダグイチ	10~20	800~1,300
		マコ	40~50	100~250
一本釣	5	コイチ	700~1,000	100~200
	10	イイダコ(雄)	50~60	1,800~2,200
		イイダコ(雌)	50~60	500~700
一本釣	10	イカナゴ(フルセ)	200~300	290
一本釣	40	アイナメ	5~8	2,500~3,000
延縄	6	マコガレイ	40~50	1,300~2,500

大阪湾北西部(淡路町)				
小型底びき網	10	カサゴ アサギ キシロイ	30~50 4~6 20~25 30~40 50~80	1,600~1,800 1,900~2,000 2,000~2,500 300~400 300~400
船びき網	15	イカナゴ(フルセ)	50~70	670~710
	29	イカナゴ(コナ)	600~720	210~750
一本釣	34	アサギ メカサ	5~6 1~2 1~2	2,300~2,400 2,600~2,700 3,000~3,100
	2	キス	10~15	3,000~3,300
延縄	3	マコガレイ	15~20	1,700~1,800
	10	マアゴ(小)	10~15 10~15	3,700~4,000 1,700~1,800
タコ壺	2	マダコ	5~10	1,300~1,500
突棒	6	アウビ	10~15	3,000~4,000
友ヶ島水道周辺(由良漁連)				
小型底びき網	10	マダイ	22	4,500
	25	アサギ アサギ マキマキ	35 10 5	1,140 1,000 2,000
	40	アサギ コイ コイ	8 3 35	1,300 1,500 300
		コイ	25	400

【お詫び】 紙面の都合により各地漁況中、紀伊水道(沼島)およびイカナゴ予測の一部は割愛しました。

第1回の栽培漁業技術研修会を 提揮漁青連が赤穂で



講演する水試の伊丹場長

昭和59年2月17日から18日にかけて、まわりの一面銀世界に雪化粧した赤穂御前において、提揮地区漁業技術研修会が、盛況で行なわれた。

当日は、悪天候にもかかわらず、神戸市から赤穂市にかけて約40名の青壮年部員が参加し、日頃聞きなれない言葉も、熱心に耳を傾けていた。

本研修会の目的は、漁場環境の悪化や、乱獲により減少した漁業資源の回復をめざし、最先端の

技術や栽培漁業の方向性をあつめて、日々の活動に活かしていこうとするものである。

講演は、兵庫県立水産試験場長・伊丹宏三氏の特別講演「皮切り」に、4課題が終日行なわれ、翌18日は、関西電力御相生火力発電所を視察し、研修日程を終えた。

当日のプログラムから内容をひろてみると、水産業界におけるバイオテクノロジーの応用と将来の展望について、兵庫県立水産試験場長 伊丹宏三氏

(内容) 近年實に脚光を浴びているバイオテクノロジーの概要から、応用テクノロジーに致る広範囲な説明が行われた。その中で、特に水産業界においては、ヒラメの雌性発生、ノリの新品種の開発、耐病性魚種の開発、フレモン(ホルモン)生産が、特筆される技術として注目されている。

種苗生産の現状について、兵庫県栽培漁業センター(中本幸一氏)を中心に行なわれている種苗生産の現状を講演した。現在我が国におけるエネルギー消費、大規模冷却用取水排水の構造から、温排水と漁場環境について詳細の講演を受けた。

「総合討論」
—マダニ栽培漁業の現状について—
昨年十二月二十九日

を過ぎ上計の村道に入ってきた。事実この作花の漁協生活の正念場はこの日から開始されたのであった。

農道は朝が早い故かまだほとんど自給車、徒歩の人影はなかった。父はぼつぼつ語りながら「全焼は免がれた。しかし天窓から煙が入って屋根から火がまわり、結果において二階から上が黒焦げになり、何はともあれ二階は新しくせなければならず、親戚知ひの奔走で必要木材の調達中である」と説明してくれた。

漁協一代(その十五) 作花英治

支那派遣軍所属 元陸軍兵長 作花英治 二月五日佐世保上陸 六日復員召集解除本 日帰村致しました。 此致意に申告致し ます。

昭和二十二年二月八日 右 作花 英治 左 佐津村 永田 博殿

自分にとって終生鮮烈に頭に焼きついて忘れることのできない、以後見聞する敗戦の姿に「どうせ死ぬと覚悟していた身だ。一丁死んだつもりで復員に全力を尽くす」とフアイトを湧き立たせた端緒は実にこの復員帰郷の感激にあつたので、この心境を記すに

番組のお知らせ

- ◎船員の広場
放送時間 8:30~8:40
周波数 392.5、60.5、95.95 KHz
3月15日 健康検査
22日 工作機械等による災害
29日 冷凍作業における災害
◎海の安全メモ
放送時間
- ◎こちら海です(放送予定)
毎週日曜日 正午よりサンテレビ放送中
3月11日 和歌山湯浅町(テーマ) 春を呼ぶ湯浅の白魚漁
- ◎漁村で活躍/CA-TV
今 大阪町では、町民のテレビが大はやりです。その父子の生活を紹介します。
- ◎漁師さんのお話
漁師さんのお話(テーマ) 官津ナマコ漁
- ◎漁師さんのお話
漁師さんのお話(テーマ) 官津ナマコ漁
- ◎漁師さんのお話
漁師さんのお話(テーマ) 官津ナマコ漁

「渡辺文雄のふるさと探訪」(テレビ大阪放送)

渡辺文雄さんがふるさと探訪の取材のために淡路島にいられた、森漁協のロケがあつた。おもしろい。この映画は農水省のもの、マゴロなどがあるので、マゴロなどがすで

二月に入ると、この土地独特のシロウオ組の準備期間となる。この漁協にはシロウオ組合があり、多い時には二十名ぐらいいる。体長三、四cmのシロウオという珍しい魚に、取りかかるとの姿を紹介したい。

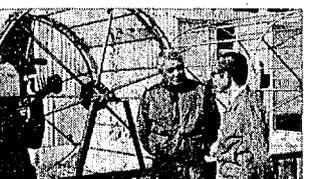
3月18日 福井県大飯町(テーマ) 官津ナマコ漁

3月25日 京都府宮津市(テーマ) 官津ナマコ漁

3月25日 京都府宮津市(テーマ) 官津ナマコ漁

渡辺先生はインテリタレントというところ、最初は緊張していましたが、お人柄のよさで、すっかり打ちとけて、たのしいロケをお手こみしました。

まず、開口一番、海をみせて下さいということ、森吉一組合長と一緒にご案内しました。青い広い海でセツトに浮ぶリネをみられ、びっくりされ「杭のない養殖が行なわれていたんですね」と先ず感動され、次に機械化された摘採、加工にもすっかり驚かれた様子でした。また、種網も人工採苗が普及され、自給体制をしている様子も初めてのことでした。



次に検査の状況やノリの食べ方などについて、森漁協の婦人部の方々と色々と話され、町の皆さんがつくりに、パン、チーズ巻などの他、ノリのおしるこなども出て、

いすゞ マリンエンジン UM06BB1B 高速への挑戦!

特長
1. 小型、軽量、高出力
2. 卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社 〒658 神戸市東灘区住吉浜町17 TEL (078) 811-1171

曳力抜群! ヤンマー-伝統の底力!

内海船曳35馬力適合機関 4HA35

水産庁基準適合 低燃費機関

ヤンマー-ディーゼル

ヤンマー-ディーゼル株式会社